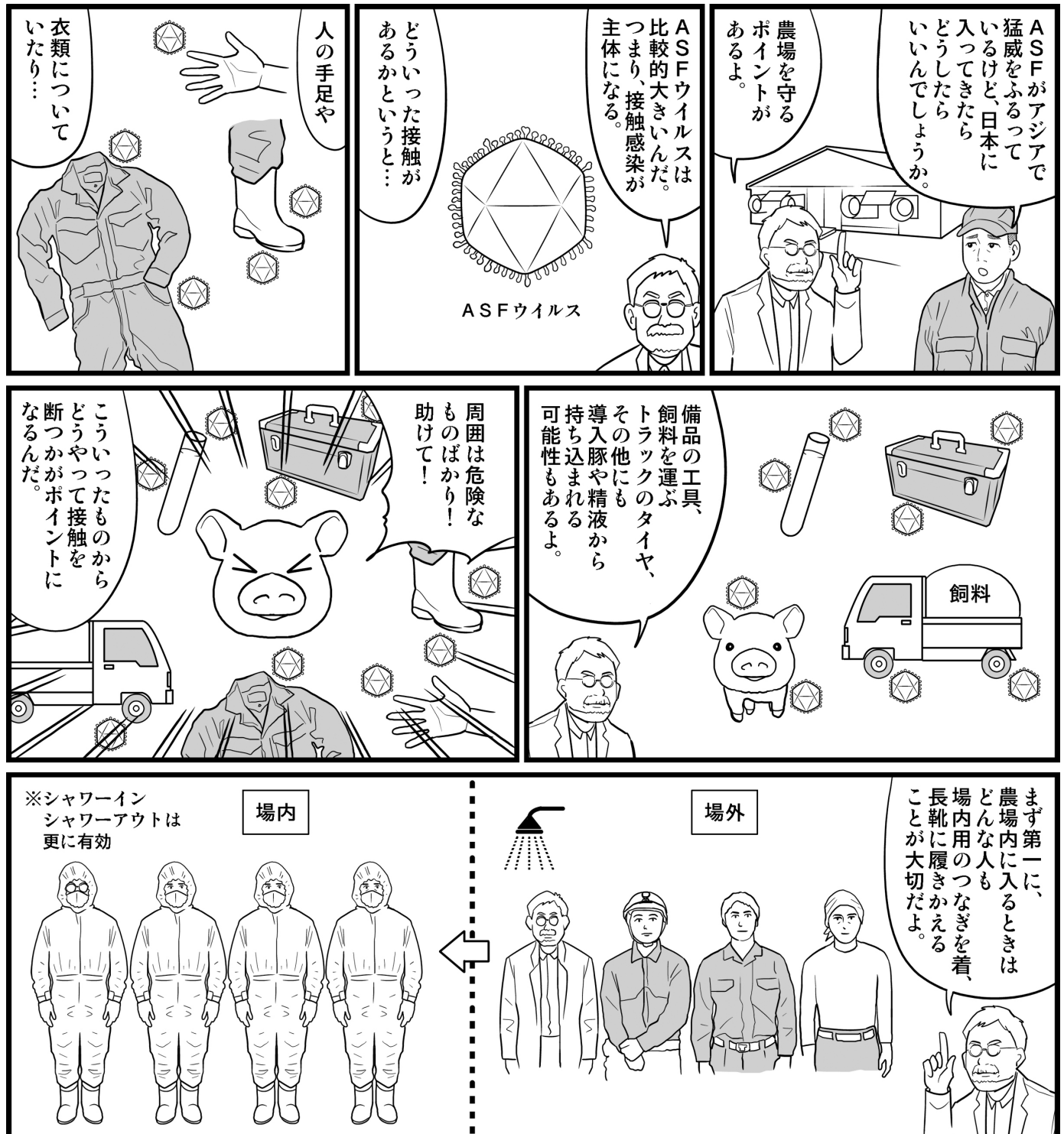
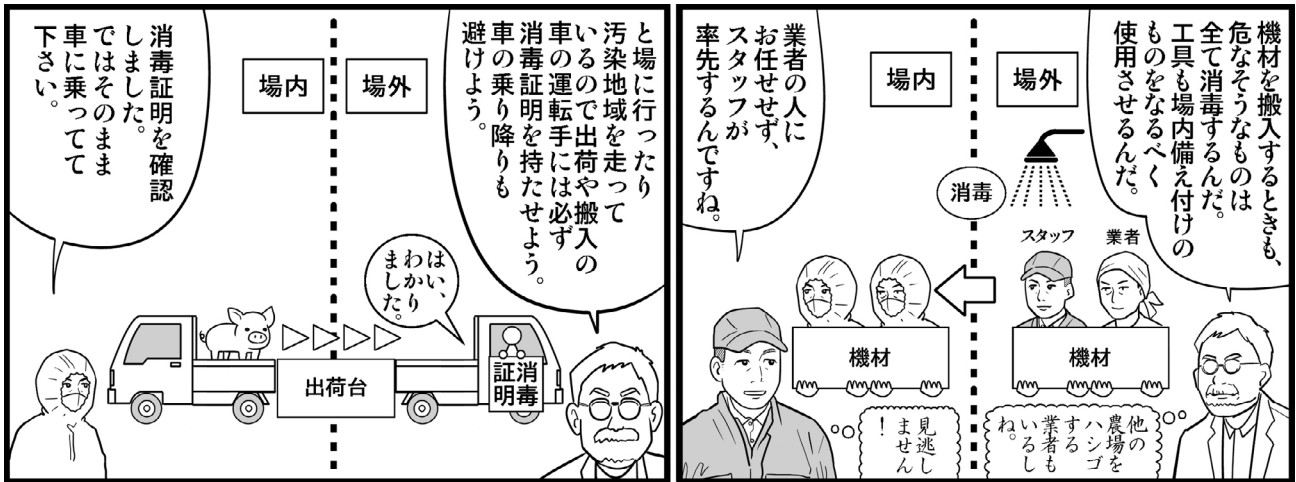


## ASF(アフリカ豚熱)対策(1)

万が一、我が国にASFが侵入してしまったら、どうやって自分の農場を守ったらよいか、Misset社のPIG PROGRESSで述べられていますので、2号にわたってマンガ形式でご紹介します。





機材を搬入するときも、危なそうなものには全て消毒するんだ。工具も場内備え付けのものをなるべく使用させるんだ。

業者の人に任せせず、スタッフが率先するんですね。

と場に行ったり汚染地域を走っているので出荷や搬入の車の運転手には必ず消毒証明を持たせよう。車の乗り降りも避けよう。

場内 場外

消毒

スタッフ 業者

機材 機材

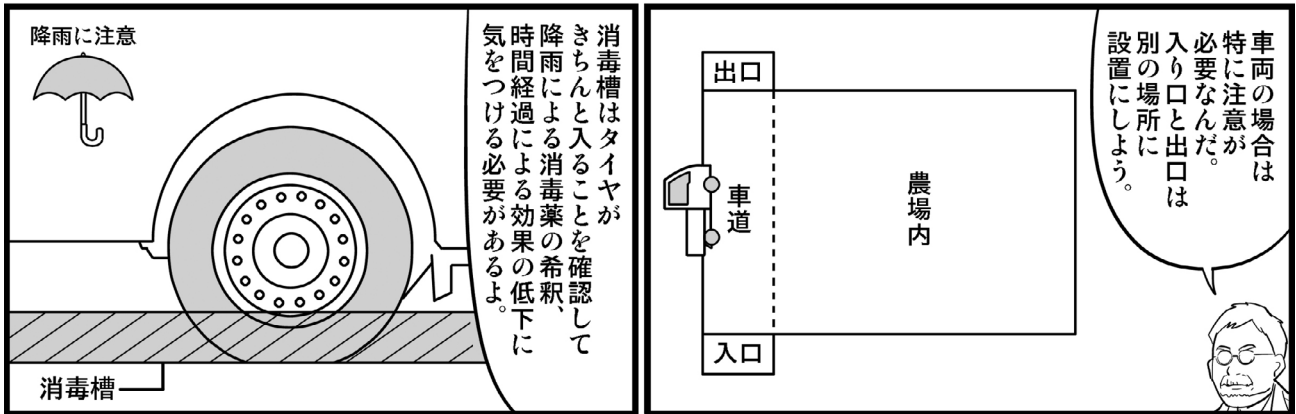
見逃しありません！

他の農場をハンゴする業者もいるからね。

わはいましたり

消毒証明を確認できました。そのまま車に乗って下さい。

出荷台 証明毒



降雨に注意

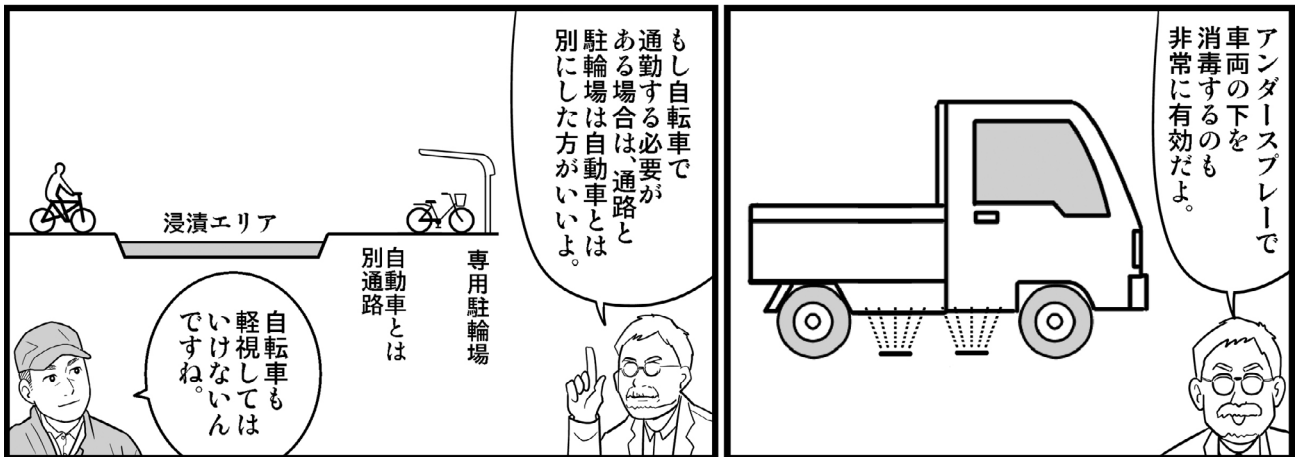
消毒槽

消毒槽はタイヤがきちんと入ることを確認して降雨による消毒薬の希釈、時間経過による効果の低下に気をつける必要があるよ。

農場内

出口 車道 入口

車両の場合は特に注意が必要なんだ。入り口と出口は別の場所に設置しよう。



アンダーブレーで消毒するのも非常に有効だよ。

もし自転車でもし自転車でも通勤する必要がある場合は、通路と駐輪場は自動車とは別にした方がいいよ。

浸漬エリア

専用駐輪場

別通路とは

自動車とは

軽視してはだめですね。



次回もASF対策続くよ！

見てね！

ハエや鳥は直接の接触媒体となるので、ハエ対策、鳥対策としてそれぞれ責任者をスタッフから任命することも大切なんだ。

フライエキスパート

バードエキスパート

かっいー？